



# 花の駅だより

令和2年 2月



社会福祉法人東京児童協会  
神田淡路町保育園大きなおうち  
〒101-0063 千代田区神田淡路町 2-12  
TEL03-6260-9555  
FAX03-6260-9556  
園長 菊地 恵子

2021年が始まって早一か月が過ぎました。暦の上では春ですが寒さはまだまだ厳しいようです。それでも梅のつぼみも膨らみを見ていると春はそこまで来ていると嬉しく思います。皆様におかれましては体調崩されませんようご自愛ください。

現在、2回目の緊急事態宣言が発出されています。幸いなことに保育園は休園とはならず、コロナ禍における通常運営を続けられ、子どもを預かることができます。

保育で子どもの「生きる力」「学びに向かう力」の育ちを考える時に連続性が大事だと思います。一つの活動の中から子どもたちが自分のやりたいことを見出し、主体的にじっくりと取り組み、またやりたいことを見出して展開していく連続性になります。その連続性を新型コロナウイルスが障害となり、活動の断念や休園等の断続的な活動にならざるを得ない状況になることがあります。子どもの育ちの面から見ても早く収束を祈るばかりです。

## ◇行事予定◇

- |                     |                           |
|---------------------|---------------------------|
| ・2月 1日(月) 杉アート(5歳児) | ・2月 5日(金) 幼児身体測定          |
| ・2月 2日(火) 節分の会      | ・2月 10日(水) 異文化交流(3.4.5歳児) |
| ・2月 4日(木) 乳児身体測定    | ・2月 24日(水) 異文化交流(3.4.5歳児) |

## ～お知らせ～

1月の園便りに掲載させて頂いた、「1年の足取りをたどる会」につきまして、名称や内容を一部変更させて頂きます。

- ・「1年の足取りをたどる会」→「大きくなった会～幼児～」に名称を変更させて頂きます。
- ・内容につきまして、伝統遊戯は割愛させて頂き、劇のみ動画にて公開させて頂きます。
- ・期間として、2月の後半～3月の上旬を予定させて頂いております。
- ・詳細に関しましては、後日別途の手紙にてご案内させて頂きます。

※その際、ご参加される保護者の皆様には公開運動保育時同様に、2週間の体調管理表の記入をご協力頂きます。予めご了承ください。

何卒宜しくお願い致します。

# ☆・・・☆・・・☆【保育のページ】☆・・・☆・・・☆

## 幼児

1月はお正月や節分に向けた製作があった事もあり、昔から伝承されてきた習わしや意味合いに関心を高める機会の多い期間となりました。

新年お楽しみ会が行われ、日本の伝統的な楽器や作法に触れる時間がありました。琴の綺麗な音色に耳を傾け、茶道の落ち着いた雰囲気を感じ取っています。「これきいたことある!」「きれいなおとだね」と夢中になって聞く様子や、静かにじっと抹茶が出来るまでの過程を見つめる様子もありました。

お正月遊びでは、けん玉・だるま落とし・花札・かるた・こま・おてだま・ふくわらい・すごろく・羽根つきなど、様々な遊びに挑戦しています。ふくわらいで出来た顔を「すごいかお!」と大笑いしたり、「こま、まわせたよ!」とずっと練習していたこまが成功して大喜びする姿もありました。

節分にむけた製作では、鬼の面やます作りを行いながら節分の由来や鬼の苦手な物などの話に興味を持ち、まめまきの歌に合わせた伝統遊戯を踊りながら、当日に期待をよせる様子が見られました。角が2本・1本、色が緑・赤・青・黄色など、それぞれこだわりの一品になっています。ぜひ、ご家庭でも可愛らしい鬼達と楽しい時間をお過ごし下さい!



### あひる組

先月は連休明けも笑顔で登園するだけでなく、お話が増えたりご飯を上手に食べられるようになっていく姿が沢山見られ、連休中もご家族とじっくりと関わりながら過ごせていた事が感じ取れました。

寒い日が続いていましたが陽射しが暖かい日もあり、戸外活動ではボール遊びや保育者と一緒に走ったりして元気いっぱい体を動かしました。また、幼児クラスの「新年お楽しみ会」に遊びに行った際には独楽やお手玉などの伝承遊びをしたり、本物の琴の音色を聞いたり実際に触れてみたりしながら行事の雰囲気を楽しむ事が出来ました。

まだまだ寒い時期は続きますが、季節感や、この時期ならではの楽しみを子ども達に感じてもらえるような活動をしていきたいと思えます。



### うさぎ組

2021年始まりの1月は、着替えや片付けなども少しずつ自分で行おうとする姿が多くなり、大きな成長を感じました。

「新年お楽しみ会」にも参加し、琴の演奏や茶道を保育士が着物を着て披露するところを近くで見ることが出来、日本ならではの文化を見て雰囲気を感じるという貴重な経験が出来ました。

また、新しい試みとしてお友達や保育士と手を繋いで、園周辺を巡るところから、お散歩が始まっています。時折立ち止まって草花や電車等もゆっくり見られるようになった事もあり、地域の方々へ挨拶を通して、触れ合いの機会も出来るようになりました。

少しずつ距離を伸ばしていきながら、自然を沢山感じたり、地域交流も盛んに進めていきたいと思えます。



### ひよこ組

「今日寒いね」「雪降るかな?」と子どもたちの会話の中から冬を感じられる今日この頃。

先月は新年の製作で凧を作りしました。「凧あげしてみたい」と実際に凧あげをする日を楽しみにする子ども達。ワテラスへ行き、思い切り走って凧あげをしました。初めはコツがつかめず苦戦している子もいましたが、手を高くあげてみようとして子どもたちなりに試行錯誤して走ってみると上手に飛び、「できた」と笑顔が浮かべていました。

最近では身の回りの事を自分で行う事が定着してきました。「もうすぐ花組さんになるんだ」と期待をもっている子もいます。今年も残り2ヶ月となりました。クラスの思い出をたくさん作っていかうと思えます。

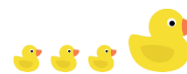


## ＜ ほけんだより ＞

1月は鼻水や発熱でのお休みが多少見られました。風邪や感染症などもまだまだ流行しているので、手洗いやうがい、換気や加湿を小まめに行い予防につとめていきましょう。新型コロナウイルス感染症の感染者の中で小児が占める割合は少ないですが、感染しないというわけではないため、保育園内でも感染予防対策をとりつつ過ごしていこうと思います。みんなでより注意をして生活していきましょう。



## 感染症ってなんでしょう？



感染症とは、日常の環境の中に存在する病原性の微生物が、人の体の中に入り込むことで体の中で増殖し発症します。感染源は、感染者や感染動物などからの排泄物・嘔吐物・血液・体液などや、感染動物が触れたもの、食品などです。また、日常生活において注意すべき主な感染経路は、接触感染、経口感染、飛沫感染、空気感染です。感染を防ぐにはまず、目に見えない病原体などが「どこから（感染源）」「どのように（感染経路）」体の中へ侵入するのかを知ることが大切です。

### 【接触感染】

皮膚や粘膜の直接的な接触や、手、ドアノブ、手すり、スイッチなどの人がよく触れる物の表面を介して接触することで引き起こされます。代表的な病気はインフルエンザです。保育園では接触感染の防止として、園内の拭き取り消毒を実施しています。

### 【経口感染】

病原体が付着した食品や手指、物などを經由して主に口から入り込み、感染を引き起こします。排泄物や嘔吐物に含まれた病原体が手指などに付着し口に入って感染することを、特に糞口感染といいます。代表的な病気は、ノロウイルス、ロタウイルスなどの胃腸炎です。

### 【飛沫感染】

咳やくしゃみ、会話によって飛んだ唾液やしぶき（飛沫）に含まれた病原体を吸い込むことで引き起こされます。飛沫は会話で1～2m、咳で3m、くしゃみで5m飛ぶといわれています。代表的な病気は風邪やインフルエンザ、風しん、おたふくかぜなどです。新型コロナウイルスも飛沫感染がメインです。また、飛沫感染を防止するためにマスクの着用が有効です。

### ■ マスクやフェイスシールドの効果 (スーパーコンピュータ「富岳」によるシミュレーション結果)

対策方法	なし	マスク			フェイスシールド	マウスシールド
		 不織布      布マスク      ウレタン				
	<b>吐き出し飛沫量</b>					
	100%	20%	18-34%	50% <sup>※2</sup>	80%	90% <sup>※2</sup>
	<b>吸い込み飛沫量</b>					
	100%	30%	55-65% <sup>※2</sup>	60-70% <sup>※2</sup>	小さな飛沫に対しては効果なし (エアロゾルは防げない)	

※2 豊橋技術科学大学による実験値

感染予防対策にはひとりひとりの意識が大切です。自分を守るためにも、周囲の人を守るためにも感染予防対策を意識して行動していきましょう。

◇ 身体測定  
 幼児：2月5日  
 乳児：2月4日

◇ 0歳児健診  
 2月4日、18日

## ～節分について～

節分とは「季節を分ける」という意味があり、四季それぞれにあります。しかし、2月3日の春の節分は一年の区切りとされ、特に大切にされてきました。現在、一般的には冬から春の変わり目の「立春」の前日を「節分」と呼び、新しい季節(歳)を迎えるために豆まきや節分飾りで鬼や邪気を払う習慣とされています。今年は地球の公転周期によって、124年ぶりに2月2日が節分となります。

### 【それぞれの由来】



#### やいかがし

魔除けの為に飾る

鰯の焼いたときの匂いと柵のトゲで

鬼(邪)を払うとされている



#### 恵方巻

節分の日の夜に、その年の恵方を向いて、願いを込めながら一言も話さずに食べると願いがかなうとも言われている



#### 節分豆

自分の歳の数だけ食べると、体が丈夫になり病気になりにくいと言われて

園でも大豆や鰯を食べて、身体の中から鬼(邪気)を払います。ご家庭でも豆まきや恵方巻などで鬼を払い、新しい1年の為に福を招きましょう♪

※豆まきの際中に、豆を鼻や耳に入れてしまうことがあるので、注意して行ってください。

## ～豆類について～

穀類に次いで、人類が古くから食用栽培したともいわれる豆類。わたしたち日本人にとってもなじみ深い食材です。日持ちする乾物としても利用されてきました。豆類は、炭水化物、たんぱく質、ビタミン、ミネラル、食物繊維などの栄養素をバランスよく含んでいるため毎日の健康づくりに役立つ優れた食品です。園でも様々な豆を使用しています。ぜひご家庭でもお試しください♪

### 【園で使用する豆の紹介】



#### きんときまめ

ビタミン類や鉄、カルシウム、食物繊維を多く含みます。豆に甘さがあるため、甘煮や甘納豆に使用します。



#### あずき

豆の中でもビタミン類や鉄を多く含んでいます。お赤飯やおはぎなどお祝いの際に使用します。



#### くろまめ

大豆の仲間で、鉄や食物繊維を多く含みます。お正月に食べることが多いですが、甘納豆やお茶にも使用します。



#### だいず

「畑の肉」とも言われるほど、たんぱく質を多く含みます。サラダや煮物、調味料にも使用します。



## ～感謝して食べよう～



食事は、食べ物を育てたり収穫したりする農家や漁師、畜産家などの生産者、食べ物や食事を運ぶ運送業者、食べ物を売る小売店の人、それらを調理する人など、たくさんの方が関わっており、たくさんの人たちのおかげで、わたしたちは毎日、おいしい食事を作ることができます。また、今月はテーマ野菜の大根を使用した「大根丸ごとランチ」があり、大根の皮や葉も余すことなく料理に使っています。

毎日の食事がいただけることに感謝の気持ちをもって、残さず食べましょう。